

救急相談センター広島広域都市圏・備後圏域（#7119）の広報活動

1 本市公式 SNS を利用した広報

今年度は新たに消防局公式 Instagram にも投稿する等、#7119 の利用等に係る内容を計 10 回以上投稿。

図 1 公式 X



図 2 消防局公式 Instagram



2 本市広報紙「市民と市政」への掲載

#7119 の特集記事をはじめ夜間急病センター等の記事にも#7119 を入れ込む等、計 4 回掲載。

図 3 #7119

病気やけがで判断に迷ったら

急な「病気」や「けが」のとき、救急車を呼ぶか、そのまま様子を見てよいかなど迷ってしまう場合は、電話で相談できます。
 図医療政策課(☎504-2178、☎504-2258)

救急車を呼ぶべきか迷ったときは、救急相談センター広島広域都市圏・備後圏域(ダイヤル「#7119」)に電話してください。相談員(看護師)が症状を聞いた上で、緊急性を判断し、受診のタイミングなどのアドバイスを行います。

相談者
119番の前に電話相談を

救急車を呼んだほうがいいの?
 すぐ受診したほうがいいの?
 今から受診できる病院は?

緊急か迷うとき 「救急相談センター広島広域都市圏・備後圏域」へ
 ☎ #7119 24時間365日 相談無料 (通話料はかかります)
 ※つながらない場合は、☎246-2000へ

救急相談センター

受付員 相談員(看護師) 医師(看護師と電話でやりとり)

今、受診できる医療機関をご案内します
 今の様子を見て、症状が悪化した際は受診してください
 早めに医療機関を受診してください
 すぐに救急搬送が必要です

医療機関案内 症状に応じた案内 受診の動向と医療機関案内 119番へ転送

❗ ろれつが回らない、片方の手足が動かないなど緊急時は、ためらわず119へ

図 4 夜間急病センター

夜間急病センターのご利用を

市内 2カ所(中区千田町、安佐北区可部南)にある夜間急病センター。夜に熱が出たときなど、救急車を呼ぶほどではないけれど朝まで待つのが不安な場合は、夜間急病センターをご利用ください。
 図医療政策課(☎504-2178、☎504-2258)

夜間の発熱などは同センターへ 受け付けは午後10時半まで

夜間急病センターは市内の医師会が運営する、夜間の急病に対応するための医療機関です。総合病院は重症患者の治療を行う役割を持っており、緊急性を要しない患者が多数受診すると重症者の受け入れが難しくなってしまいます。かかりつけ医の診療時間外となる夜、急な発熱や咳込みなどの体調不良となったときは夜間急病センターをご利用ください。

夜間急病センターで診察するのは、事故などを除く、軽症の患者です。
【対象となる症状の例】
 ●熱が出た ●腹が痛い ●咳が止まらない ●軽い打ち身や切り傷(千田町のみ) など
【利用にあたって】
 ●受診前に必ず電話でお問い合わせください ●原則応急処置。薬を1日分処方します ●いずれも駐車場完備(救急車では来院不可)です ●検査、入院が必要な場合は医療機関を紹介します ●翌日以降に、かかりつけ医も受診してください
 同センターについて詳しくは、市ホームページで。

「今すぐ病院に行くべきか」「救急車を呼んだ方がいいか」悩んだ場合は、救急相談センター(☎#7119か☎246-2000)もご利用ください。

3 テレビ番組の放送

RCCの「元就。二百万一心！」にて#7119の特集を放送。また、広島テレビの「馬場のぶえの広島脳トレ」の年末年始医療体制特集等においても#7119を紹介し、計4回放送した。

図5 #7119（元就。二百万一心！）



図6 年末年始の医療体制（馬場のぶえの広島脳トレ）



4 包括連携企業における取組

本市と包括連携協定を締結している企業と連携し、ポスターの掲示や社内デジタルサイネージにて動画を放映した。

図7 包括連携協定企業情報交換会の様子

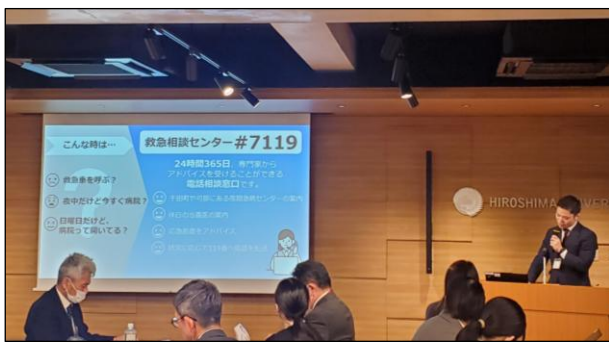


図8 リコージャパン(株)の社内デジタルサイネージ



5 上手な医療のかかり方ガイドの作成

今年度新たに、#7119をはじめとした市民に知っていただきたい情報をまとめたリーフレット「上手な医療のかかり方ガイド」を作成した。また、本リーフレットの普及啓発等に係る取組が厚生労働省主催の「第7回上手な医療のかかり方アワード」において「厚生労働大臣賞 最優秀賞」を受賞した。

図9 上手な医療のかかり方ガイド

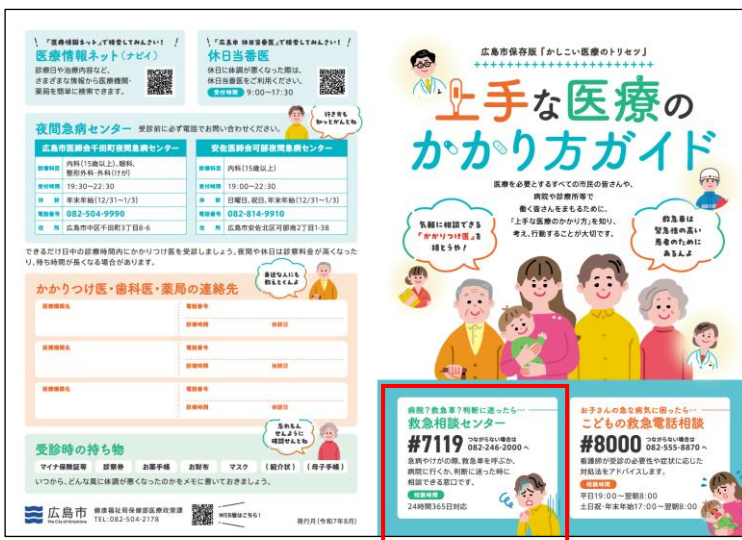


図10 上手な医療のかかり方ポスター

